仕事への愛着を

古津　萱森悦子　銀行員　(19才)

一九七一年、新しい年が明けた。やっと寒くなったと思ったかと思ったら、また冬がきた。駅前アーケードの新築、市内の店々の改築とめまぐるしく変わってきた。しかし、新津に就職を希望する人が少ないことは事実である。新津には、若い人達をひきとめるものが欠けているせいではないかと思う。

この一年間に味わった「新入社員」という言葉の重さ。この言葉ほどもう許されない。係りにも慣れ、私に窓口係りと責任ある仕事をまかされた時の不安も事実だし、やってやるかと闘志を燃やした私でもある。接客のむずかしさも改めて知らされ、また、ある客との関係会社とお客との関係とのどちらを優先するかの問題の難しさ。私個人の行動も会社とお客との関係がなければ当然ではあるが微妙なものだと思う。笑顔を忘れず、サービスを心がけている。学生生活に別れを告げ、かよい慣れた市内に就職した。新津の町も年々ときれいになっていくように思う。

駅前アーケードの改築とめまぐるしく変わってきた。

しかし、新津に就職を希望する人が少ないことは事実である。新津には、若い人達をひきとめるものが欠けているせいではないかと思う。

社会人の第一歩を第四銀行から踏み出して十か月を過ごした現在、楽しく仕事をしている。奉職のためにも、良き先輩として頑張らなければ……。

この一年間に味わった「新入社員」という言葉の重さ。この言葉ほどもう許されない。係りにも慣れ、私に窓口係りと責任ある仕事をまかされた時の不安も事実だし、やってやるかと闘志を燃やした私でもある。接客のむずかしさも改めて知らされ、また、ある客との関係会社とお客との関係とのどちらを優先するかの問題の難しさ。私個人の行動も会社とお客との関係がなければ当然ではあるが微妙なものだと思う。笑顔を忘れず、サービスを心がけている。学生生活に別れを告げ、かよい慣れた市内に就職した。新津の町も年々ときれいになっていくように思う。

駅前アーケードの改築とめまぐるしく変わってきた。

しかし、新津に就職を希望する人が少ないことは事実である。新津には、若い人達をひきとめるものが欠けているせいではないかと思う。

社会人の第一歩を第四銀行から踏み出して十か月を過ごした現在、楽しく仕事をしている。奉職のためにも、良き先輩として頑張らなければ……。

住民本位の市政

梅ノ木　広瀬俊夫　農業　(二十五才)

今一九七一年という新しい年を迎えた冷たい木枯しの中にも、我々若者も夢や希望をいっぱい含んだ太陽が静かに動きはじめたのです。今年こそは、この太陽が我々の上に、新しい年を迎えてくれたんさんとふりそそいでくれたんさんと祈願しています。

私は新しい年を迎えた。現在、自分のやっている農業を、そして農村を みていると片方の側に 力が出ていないように思えてしまう。

昨年の秋も、黄金色に実った稲穂を見ても、一方では休耕のための「ヒエ」や「雑草」などで一面白いことにその町そのまま、若い人達をひきとめるものが欠けているせいではないかと思う。

社会人の第一歩を第四銀行から踏み出して十か今日過ぎ返すような例が まるあるのだ。わりと楽天的で考えるよりまず実行、当たってのことだ。

勇気をもっている。

亀田町の場合は一般に生きるということに厳しい。商売する場合はトコトンしごかれる。人を頼ってはどんどん追い抜かれ、ついては参ってしまう。亀田人に勝つためにはよほどの忍耐力とガンバリが必要である。

新津人気質

田家二　吉川　諒　新聞記者　(三十五才)

私は仕事の関係で新津以外の人と接する機会が多い。五泉、亀田、村松などに市内より大勢の友人や知人をもっている。

亀田で商売がなり立つには新津や五泉ではもっと繁盛する人が多いと思う。

一方、村松町は極端に村松びと義理がたいのと、しんくらいではおそろしくらいではおそろしくらいではおそろし